



平成九年度布教教化計画

まごころに生きる

平成九年度管長告諭並びに布教方針に基づき、布教教化計画が左記の通り示されました。

一、平成九年度布教教化計画

教化テーマ「まごころに生きる」

合掌礼拝運動の展開として、「まごころに生きる」実践行動を、「人権・平和・環境」の視点から、あらゆる事業の中で啓発し、一仏両祖の教えを敷衍する。

一、グリーンプランの推進

イ、「グリーン・プラン五訓」のポスター作製、及び家庭でできる実践項目シールの作製

ロ、全寺院向け、ポスターの作製

ハ、グリーンウォッチングの実施  
ニ、「グリーン・ライフ」の教材作製  
ホ、宗門護持会との共催による、「グリーン・プラン」実践の集い管区大会の開催

二、「禅をきく会」

十会場にて、禅をきく会を継続開催する。

環境問題をテーマにする。

統一ポスターを作製する。

三、新仏教音楽の作製

四、教化推進委員会

宗門の教化施策について検討し、中期の教化方針、計画を策定する。

五、仏事研究会

《発行所》  
曹洞宗中国管区教化センター  
〒722 尾道市東土堂町17-29  
TEL 0848-25-2855  
《印刷所》  
印刷ショップ・イトウ  
TEL 0849-31-6495

目次	
・管区長退任 就任あいさつ	2・3
・宗務所だより	4・5
・誌上法話	6・7
・親子ゼインサマーセミナー	8・9
・研修会に参加して	10
・禅をきく会	12
・人権について	13
	14

将来に向けての仏事の有り様について、さまざまな分野からの研究を継続する。

六、宗勢総合調査

一九九五年度に実施した宗勢総合調査の内容について、委員会でも分析し、報告書のダイジェスト版を作成する。

七、第三十一回青少年書道展の開催

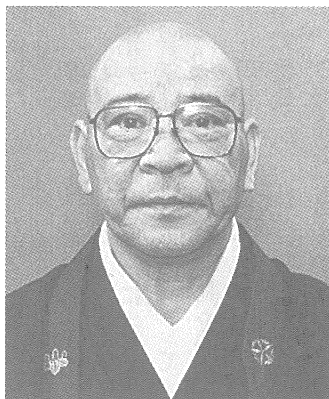
八、授戒会推進運動

授戒会、法脈会の開催について補助金を下附する。

九、宗典・經典翻訳の推進

翻訳推進委員会を中心に、宗典・經典の翻訳を進める。

# 管区長退任ご挨拶



岡山県宗務所長  
矢木 亮司

春暖の候、管区内尊堂諸老師には益々御清祥にて御接化の段、法幸至極に存じ上げます。

平成七年一月より二年間、岡山県宗務所が、管区諸般の事務を担当させて頂き、不肖の身が管区長の要職を奉じて参りましたが、平成九年一月十四日付けをもちまして、ようやくその任を了えることができました。その間、各方面より賜りました御法愛に對しまして、衷心より厚く御礼申し上げます。もとより浅学非才、当該宗務所役職員諸老師の献身的な協力を得、宗務所職員一丸となつてその任に當つたつもりではありますが、十分に成果を上げ得ませぬと思つております。幸いに各宗務所長老師、センター統監老師をはじめ、役員諸老師、関係方面各位のたいへんなお力添えを戴きまして、何とか大過なく諸行事が遂行できましたこと洵に有難く感謝致しております。

改正、護持会年度会費の問題、両大本山副貫首大老師の御遷化等々大きな出来事が続いて起こりました。特に護持会年度会費の問題については、管区で最も大きな行事であります宗門護持会中国管区集會でも賛否の議論が沸騰致しました。人権学習会では、はじめて長島愛生園に現地学習を行いました。宗務所役員、センター役員員の全員集會も実施され、それぞれの分掌において、熱心な協議を持つこともできました。二年間のさまざまなる事象が今、心に残っております。

最後に新管区長となられました、鳥取県宗務所長中井老師、鳥取県宗務所諸老師の御活躍と、管区内諸老師の法体堅固万福多幸を祈念致しまして退任の御挨拶と致します。

合掌



二年間を振り返つてみますと、まことに事多い時期であつたと思ひます。対外的には宗教法人法の改正、これによつて、それぞれの寺院の宗教法人としての在り方が問われ直して参りました。宗門においては、平成八年度の級階査定の大幅な

# 管区長就任ご挨拶



鳥取県宗務所長  
中井 雅由

暦の上で二月四日は立春だつた。米子市天満屋で、恒例の「春の山陰民窯展」がその四日に開幕した。鳥取・島根両県の三十六の窯元からさまざまの陶器一万点が出品され、愛好家を喜ばせている。山陰民窯展、春まだ浅いこの時期に、米子に春を呼びこむ行事としてすっかり定着し、心待ちにしているファンも年々増えていくという。それぞれ窯元の個性がぶつかり合い、競い合う場へと発展している。時代に敏感ながらも使いやすく、

普段の暮らしの中で潤いを与え続ける陶器づくり。先不透明な今の時代にこそ求められているのではないか、そんな問いかけが分かる。さて時期を同じくして平成九年度、曹洞宗中国管区布教委員長會議が米子市で開會になり、この度管区の

改選期に當り、中国管区の宗政事務を鳥取県宗務所が担当することになりました。従いまして不肖私が管区長の重任をお受けすることになり一月十五日付けを以て就任させて頂きました。先に前管区長矢木亮司老師が任期中常に心のうちにひめておられ、管区運営に心配されておりました。ご退任の期に将来明るい展望に立つて運営費を増額して頂きましたことは、ご老師の業績、詢に大なるものを残して下さいました。在任中管区教化センター、教化活動への見直し等、其のご心中ご努力に對しまして心から敬意と萬謝申し上げますと共に、二ヶ年間の行政に當つて下さいました、岡山県宗務所諸老師各位のご労苦に對しまして衷心より御礼を申し上げます。有難うございました。

更に其の席上においてご懇切丁寧なる引き継ぎを頂戴致し、大任の重さに身の引き締まる思いを感じた次第でございます。不肖私事浅学非才を省みず、大任をお受け致し今後二年間、管区教化センター統監老師をはじめ、各宗務所長老師、各職員老師のご指導ご助言を賜わりながら一生懸命努力を致す所存でございますので何分共宜敷お願い申し上げます。次に第二次大竹内局におかれては、政策の

柱である「人權、平和、環境(グリーンプラン)」を推進中であり、本年は、いよいよ具体的な教化方針が示されるのではないかとご期待を申し上げておる処であります。管区が執り行う主たる行事は曹洞宗宗門護持会中国管区集會、教化センター管区宗務所役員人権学習會、管区布教委員長會等であります。管区教化センターと密接な連携を保ちながら執行致し、其の運営に當つては、当該宗務所でお世話を頂きます様をお願いを申し上げます。従来より行事会場は、それぞれ各宗務所持ち回りで行つておるようです。で、会場となつた宗務所諸老師には大変ご労苦をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。幸い当宗務所職員一同のご協力を得て、誠心誠意を以て精進努力して参りたい所存でございます。最後に、一日も早く暖かい春風の到来を待ちつつ、中国管区教化センター及中国各宗務所の、益々のご発展と関係諸老師のご法体堅固をご祈念申し上げて、管区長就任のご挨拶と致します。

九七・二・一〇

# 宗務所だより

## 岡山県宗務所

### 一、夏休み親子参禅の旅

八月二十七日、二十八日、一泊二日で大本山永平寺に参禅。  
参加者の負担を軽減するため本年度から宗務所・教区・寺院から一部を助成することになりました。

その功あつてか百八名の参加、バス三台に分乗して有意義な旅となりました。

参加者から感想文を集めました。ほとんどの人が感動した、素晴らしい体験をした、よい思い出となったとあり、これを教化委員の手によって冊子にまとめ県下各寺院に配布しました。

### 一、愛生園訪問

岡山県禅宗会（臨濟・曹洞）の伝統行事として永く続いています。本年は曹洞宗が当番（隔年）となり、宗務所職員を中心に訪問し、物故者供養法要・法話・懇談をして現地の人達と交流しました。

### 一、寺院歴住世代名鑑

先人の遺徳をしのび慈恩に酬ゆるため県内歴住世代名鑑を作成する運びとなり、各教区から人選をして編集委員会を組織、会議を重ね研究が進められています。

### 一、宗務所婦人会

婦人会が再編成されて四年目を迎え、会場を県南に移動し、長川寺において盛大に総会を行いました。

教区婦人会活動の事例発表、講師には鳥取県大祥寺住職、橋 栄春老師を招き「心豊かに」と

題して法話を拝聴しました。  
本年は五周年となるため記念行事を併せて総会を盛り上げることとしました。

## 広島県宗務所

### 第三教区青年会活動について

当青年会の活動としては主に「楽しいこと、もの集い」と「涅槃講式」があげられると思えます。

「楽しいこと、もの集い」については、昨年でもう二十回を数える事となり、これもひとえに当教区の諸先輩、諸老師方の並々ならぬご法援の賜と深く感謝申し上げます。

この活動は、対象を小学校三年生～六年生として毎年、夏休みの終りに教区のお寺を会場に一泊二日で開催します。内容は、主に「坐禅」「読経」「食事」を二本柱にしています。

次に、「涅槃講式」の事ですが、当青年会では法式研修を重ねる中で、過去この教区において「涅槃講式」が行われていた事を、ある老師様よりお聞きすることが出来、それならば、ぜひとも青年会の法式研修として「涅槃講式」の勉強をさせていただこうと言うことになりました。ところが、研修するには古い講式本では解りにくい面もあり、何とか工夫して進退等も解るように手作りの講式本を製作することになりました。

この製作につきましては、教区のご寺院を始め、諸老師方にご指導を賜わり、お陰さまで平成三年に涅槃講式本を完成することが出来ました。

## 鳥取県第一宗務所

### 平成8年度 鳥取県第一宗務所主な教化活動状況

実施月日	活動名	対象者	会場	研修員数	講師名	備考
6/3	布教委員会 特派布教連絡協議会	宗務所布教師 青少年教化員 教区長	宗務所			平成8年度 教化活動
6/5 6/9	檀信徒本山研修 檀信徒本山研修	第5教区 寺院檀信徒	大本山 総持寺	150名		
6/6 6/27	檀信徒本山研修 檀信徒本山研修	第6教区 寺院檀信徒	大本山 総持寺	100名		
6/30 7/7	特派布教師巡回 寺院檀信徒	各教区		300名		
7/17 7/18	現職研修(I) 菅内僧侶	電雲寺		40名	武田義明師 法法会計について	
7/25 7/27	親子ゼミナー サマーゼミナー	寺院檀信徒 檀信徒子弟		子供10名 寺院5名		
9/6 9/7	中国管区 布教協議会	宗務所布教師 他		15名		
9/18 9/19	現職研修(II) 中国管区	東部地区寺院 西部地区寺院	普濟寺 妙義寺	23名 33名	伊東慶彦師 人権学習会	
10/7 10/8	中国管区 婦人会研修会	婦人会員	松江	3名		
10/16 10/17	檀信徒地方研修会 檀信徒地方研修会	教区2名 4教区全員	電雲寺	60名	齊藤道親師 宗憲安心 林田昌道師 柴田敏吉師 増見道光師 佛法講義	
10/28	寺族研修会 管内寺族	妙義寺		20名	齊藤道親師 精進料理について	
10/29	婦人会 婦人会			100名	山本康道師 法話	
2/26 2/27	布教講習会 （島江との共催）	宗務所布教師 青少年教化員 他	湖陵荘	35名	井上正憲師 在道道輝師 小川昭道師	セミナー ボランティア ボランティア

## 鳥取県第二宗務所

### 平成9年度行事予定

平成九年	宗務所寺族会役員会	四月十四日
	宗務所会特派布教師連絡協議会	五月十二日
	梅花流全国奉詠大会	五月十九日
	宗務所団体参拝 （四国方面）	六月十八日
	中国管区青少年教化指導者研修会	六月二十五日
	第十三回ゼン・イン・サマーゼミナー	七月二十九日
	宗務所梅花講役員会・講長会 特派布教講習会	九月二日
	中国管区布教師連絡協議会・講習会	九月十五日
	宗務所現職研修会	九月十九日
	宗務所婦人会総会 梅花流特派講習会	十月八日
	宗務所檀信徒研修会 禅をさく会	十月十日
	中国管区役員会人権学習	十月二十四日
	宗務所会	十一月五日
	宗務所梅花流奉詠大会	十一月十三日
	中国管区役員会人権学習	十一月十四日
	宗務所会	十一月十八日
	鳥取県第一・第二宗務所役員協議会	十二月十五日
平成十年	中国管区布教委員長会	二月四日
	鳥取県布教講習会	二月九日
		二月十日

## 山口県宗務所

### 教化活動の現状

人権・平和・環境を柱として教化の活性化をはかるべく次のとおり事業を実施した。まず、現職研修会は専任講師による三物・室内伝法の研修を中心に布教・青少年・人権各委員の実践発表を通じて、課題の究明を二泊三日の日程で行った。寺族研修会は、追悼会・表彰式のと指導講話、寺庭婦人としての身近な問題を、宿泊を共にして話し合いながら具体的な解決方法を求めた。檀信徒研修会は、これまで一泊二日の日程であったが総会と本山参拝にわけて実施し、今後の研修のあり方を再検討している。宗務所婦人会は各地区婦人会の活動を象徴するかのよう総会・研修会には二百名近い参加者があり、年々盛会となってきた。

若き僧侶の発心を促す青年会は、ボランティア活動をはじめ徒弟研修会等に意欲的な活動を展開してきた。

梅花講は一四四講、二七〇四名の講員の構成で二日間にわたる県大会、各種検定会を積極的に実施し成果をあげている。人権擁護推進委員

## 鳥取県宗務所

### 教化活動状況について

本年度の鳥取県宗務所の教化活動状況としては、できる限り全ての会に多勢参加して頂く事を目標としている。しかし今日の現状は時間的になかなか都合がつかなく、同一世代の会には参加できても世代を越えた多世代の方の参加が出来にくいように思える。新しい行事としては、宗務所主催による布教講習会を昨年よりはじめ本年も実施する予定にしている。

それは特派布教の期間中、日曜日を利用し布教師老師を講師にお願いし管内全寺院に案内し開催する事である。

昨年はさいわいに三十名程の方の参加があり講演のあと、代表二人による実演発表を行い最後にまとめとして法話の組み立て方、内容のまとめ方等をお話し頂いた。参加者全員大変参考になったと喜ばれ、本年も引き続き是非実施する予定にしている。特に若い方の参加を呼びかけ多数集まって頂くように願っているところだ。特に本年より管区長並びに管区事務を引き受けた事もあり忙しくなりましたが、若い青年僧の方々にご協力を願い無事円成することを期待しておるところです。

（鳥取県宗務所教化主事 井上興禪）





# 第十二回 親子ゼンインサマーセミナー

岡山県倉敷市



## サマーセミナーで体験したこと

坂本直也(中二)

七月二十五日朝六時ごろ起きて、七時島根を出発しました。バスに乗って五時間で岡山に着きました。

そして、宿泊する所は、良寛荘という旅館でした。

一日目は、ひろさちや先生の話を聞いたり、ゲームをしたりしました。

二日目は、ウォークラリーと紅型ぞめというのをしました。

ウォークラリーは、苦労しました。まず、ポイントをさがすのに苦労しました。

そして、問題も難しかったです。特に難しかったのは、良寛の師匠の名前はなんと名前か、でした。

これは、いろんな所を歩いて探しました。そして結果は、ひろさちや賞でした。

昼ごはんを食べたら、次は、紅型染めをしました。

これは、二日かけてしました。何回も色をぬっていくうちに、段々と楽しくなってきました。

それに、ひろさちや先生の誕生日プレゼントも作っている時、これを渡したら、ひろ先生どんな顔するかと思いました。

そして、夜にはスタンプとキャンドルサービスをしました。

キャンドルサービスでは、みんなの前で、感想文を読んだ時は緊張しました。

そして、スタンプでは一番最後に出し物をしました。

やっついて、うちの班が一番おもしろいと思いました。他の班も、かなりおもしろかったです。

次の日は、ひろ先生のプレゼントを渡しました。

とても喜んでくださったので、うれしかったです。

なんか、あつという間に、すぎた三日間でした。

## 『三つの願い』に思う

長曾 景子

私は、今回で二度目のサマーセミナー参加となりました。七月下旬の寺院にあっては忙しい時期に、有力なる働き手の住職と私とが揃って寺を空けての参加でした。しかし、万難を排しての参加は、有意義な時を私ども親子に与えてくれましたので、大満足でした。とりわけ、ひろ先生のお話を今年も聞かせていただけたのは幸甚でした。

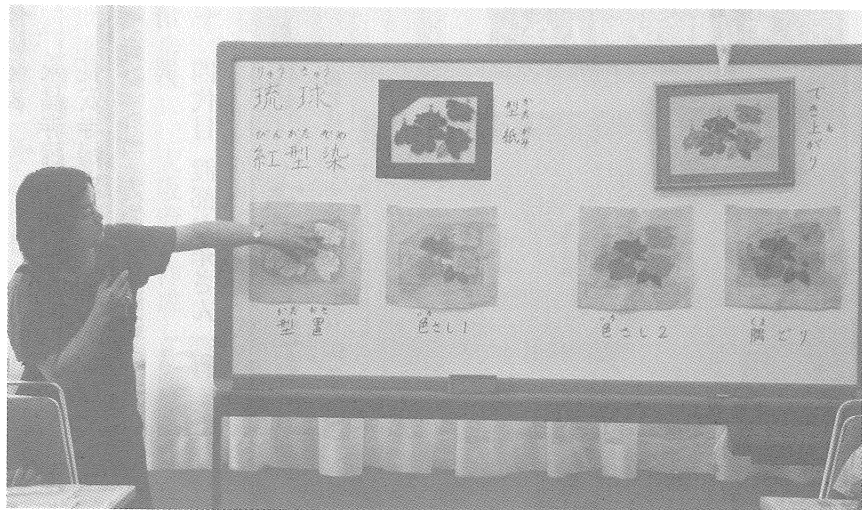
様々な国での『三つの願い』という話の中で、人間の欲の深さ・浅はかさを感じ、結局は日常生活の中にこそ人間の幸福があることを改めて教えていただきました。中でも、本来なら幸福になるための願いなのに相手の幸福を願うことができず、とうとう自分の目をつぶしてしまう話は、人間の業の深さを考えさせられ印象深く拝聴しました。

今回私が忘れられないのは、網師本先生と指導員の有志先生方による『ABCの踊り』です。前述の『三つの願い』の寓話と全く逆で、相手の幸福だけのために、恥も外聞も投げうっての演技に、私は心から拍手を送りたいと思います。こんなにも無私になって、他の人のためにできることって、中々ないのではないかと思います。指導員の先生方、ありがと



うございました。又、来年の『出し物』を楽しみに楽しみにしております。

もう一つ、紅型染めも、ほとんどの子供達が、巧拙なくそめられたことは上園先生の下準備の努力の成果であると感じております。お疲れ様でした。教化センターの皆様、上園先生、網師本先生、林先生、そしてひろ先生お世話になりました。楽しい時を与えていただいたことに感謝し、又の再会を楽しみにしてペン置きます。その日まで、どうぞ皆様お元気で。さようなら。



# 曹洞宗婦人会中国管区研修会に参加して

島根県洞光寺婦人会 今岡 文子

六年間休会となっていました、島根県第二宗務所婦人会が、皆様のご努力によりまして、本年見事に再会の運びとなりました。

去る十月七日、八日の両日は、伊藤美津世会長様をお迎えし、参加者二百六十二名というかつてない盛会に研修会が開かれました。

中司弘子先生の「笑顔・ふれあい・マイクと共に」山本隆利先生の人権学習。宮田玄洞老師様の「まごころに生きる」という貴重な講演を拝聴しました。

会員の皆様の体験発表や「あなたとわたし」の歌唱指導などもあって、いつしか会場が一つの大きな輪となり、安らぎと感動をおぼえました。

夜の懇親会には、四代目渡部お糸さん一行の安来節、どじょうすくいなどで白鳥会館の大広間一ぱいに、笑い声が響き楽しい、有意義な研修会でした。

## 曹洞宗婦人会 中国管区研修会

日時 十月七日・八日  
場所 松江市 ホテル 白鳥  
参加人員 約二百七十名

### 法 話

○講師 中国管区教化センター  
統監 宮田玄洞老師

「まごころに生きる」

○講師 中国放送パーソナリティー  
中司弘子先生

「笑顔・ふれあい・マイクと共に」

### 人権学習

○講師

「部落解放基本法」制定要求国民運動  
島根県実行委員会事務局長  
山本隆利先生



### 清 興

四代目 渡部お糸さん一行

### 体験発表

永昌寺婦人会  
長安寺婦人会

# 青少年教化指導者研修会に参加して

島根県第二宗務所正福寺 小豆澤 道雄

平成八年六月一八・一九日両日、松江市ホテル白鳥における青少年教化指導者研修会に参加させていただきました。講師に埼玉県春日部市・東陽寺住職鈴木永城老師・広島大学講師ヘルスケアトレーナー網師本真季先生をお迎えし、中国五県より五〇数名の僧侶の皆様が参集され行われました。

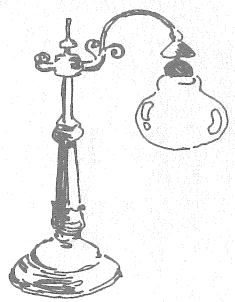
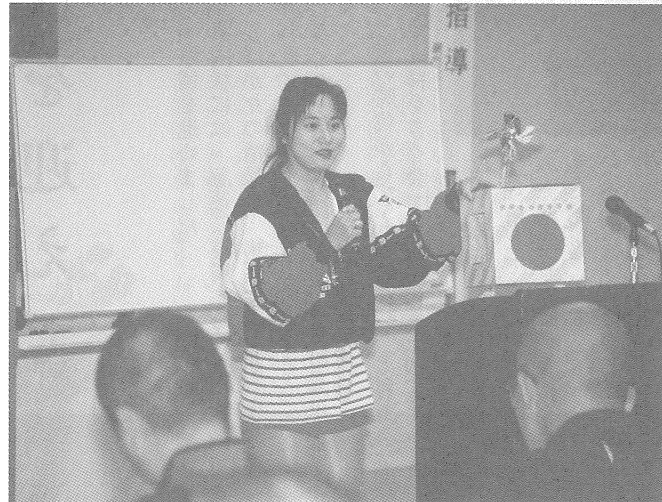
鈴木老師からは二日間にわたり、新宗教等の問題、春日部市における『灯笼流し花火の夕べ』等の行事を通してお話しをいただきました。師は「現代は余りにも知的偏重で、人間がコンピュータ化している。人やモノを思いやる広い意味での宗教心を子供達の心に培う必要がある。」と述べられ又、仏教情報センターでのテレフォン相談では、「教義や修養についての疑問相談は極めて少なく、葬儀、年回等の布施や建墓、仏壇のまつり方、仏事供養等のマナーについてが圧倒的に多い」とのお話しは、改めて教化について考えさせられました。

網師本先生のゲーム指導では、「ゲ

ム指導の三かく（よいプログラムをかく、失敗を繰り返して恥をかく、頭をかくて反省）・「ひとりひとりを大切に」と言われたことが印象に残っておりま

す。又、先生より一冊の本『遊びの大百科』を紹介していただきました。数百年のゲームが書かれた本です。私のところでは、平成四年より子供会を再開しました。普段子供達は法事等の折に寺に参りましたが、親とともに正座をして良い子でいなくてはなりません。ですから、子供会の際は遊びの時間を多くとっております。先の『遊びの大百科』をおおいに活用させていただいております。

最後に、大阪府が作成した啓発冊子等を資料として人権学習が行われ、二日間の研修会を終えました。この様な研修の場を設けていただき、有り難うございました。





# 心をきく会 — 岡山 —

## 心の時代を迎えて

岡山県事務所  
教化主事 和氣弘宗

平成八年六月十五日、津山プラザホテルにおいて「心をきく会」が盛大に開催されました。

中国管区では岡山が会場県ということで年度当初から宗務所を中心に教区会、布教委員会、護持会等幅広く協力を

求め準備を進めました。案内状には「急速に進展する科学技術、あふれるばかりの情報量、物質主義文明、複雑化する社会——こうしたことから一方でも多くのストレスに悩む人々を生み出している。

「物の時代から「心の時代」へと移りゆくなかで「心をきく会」を開催します。」

悠久の昔より脈々と受け継がれてきた禅を、より多くの方々理解してほしいという触れこみで県内各寺院、護持会に広く配布。

参加者は会場の関係で三百人程度を予定していましたが、当日は予想をはるかに上廻り四百名に近い人が集まり、お陰で会場からロビーに溢れるほどの盛況となりました。

開会には中国管区長・岡山県宗務所長・矢木老師が主催者を代表して挨拶されました。

講演は講師に駒澤大学教授・佐々木宏幹先生を招聘して、「環境問題と佛教」と題してお話しを拝聴しました。

講演の内容は佐々木教授にしては少し堅苦しいかなと思いましたが、サブタイトルが「縁」と「知足」ということで、環境を人間の心の問題としてとら



え、日常生活を反省して豊かさの中に佛心を忘れず、地球上のすべてのものの共存、そして大自然とのか、わりの大切さを説かれました。参加した多くの人達も宗教的立場から環境を考える機会は珍しく、真剣に耳を傾けていました。

椅子坐禅は、中国管区教化センター宮田統監老師を中央に第六教区の寺院住職二人、在家を代表して、倉敷長蓮寺参禅会から男女各一名が登壇して坐を組みました。(ステージが狭小のため少数となり残念) 木版一通にて開幕、統監老師の禅話「禅の心をもって日常生活を営み、一日一日を大切にしたいの人生を送ってほしい」静かに聞こえる老師の声は参加者の胸に強く響いたと思います。

老師の坐禅指導のもと止静三声にて参加者一同坐禅、わずかの時間でありましたが静寂の時を過ごしました。

予定通りに進行して閉会式に移り、樋口副所長が無事円成の謝辞をのべ一同散会となりました。

この会を催するにあたり、管区教化センターによる指導助言、そして会場となった津山市を中心とする第六教区のみなさんの準備から接待に至るまで積極的なご協力に対し深く感謝しております。

これを機として禅に親しむ場を広め、教化の輪を広げて行きたいと思っております。

合掌

## 禅を聞く会を開催して

鳥取県事務所  
教化主事 井上興禅

宗門では本年度の目標である環境改善のために、「グリーンプランのすすめ」が展開されている。鳥取県宗務所でも九月二十日、米子市文化ホールにおいて中国管区教化センター並びに宗務所共催による「禅を聞く会」が盛大に開催されました。新しい文化ホールは米子駅の近くでもあり交通の便利のよいこともあって、午後からの開会であるにもかかわらず入場を待つにぎわっていた。

だいた心のよるこびを感じる気持ちで、大変うれしく思いました。終わりに参加された皆様を代表して県の護持会長により感謝のあいさつを頂き禅を聞く会を無事に閉じることができました。

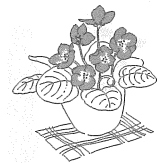
# 禅をきく会 — 鳥取 —

午後一時開会と同時に場内は見見る間に満席になり、とても大盛況で主催者並びに関係者をホッとさせた。

シーンと静まりかえった物音一つしない静寂の中、初めに開会の式典により宗務所長の挨拶にて主旨説明がおこなわれた。次でこの会の主体である講演「環境問題と仏教」

について講師である駒沢大学教授佐々木宏幹先生により本会の目標である、グリーンプランについて世界の願いであるご先祖の恩恵に感謝し慈悲心をもって豊かな地球をつく

り、すべての生命を尊ぶ生活を送ることが環境を改善し地球を守ることになるのです。それは毎日の生活を一つ一つ考えて公害のないように注意して生活してゆくとすることが大切であること、熱心にお話しいただいた。



# 人権

## 人権について



鳥取県宗務所  
人権擁護推進主事

森下健志

私が、人権「同和」問題について取り組むようになったのは、宗務所の人権主事を委嘱されてからである。人権主事になって、その責任上やむを得ず取り組まなくてはならなくなったという方が妥当である。

人権という言葉は、憲法に出てくるのでその意味は理解していたつもりであるし、「同和」とか部落差別という言葉も小学校、中学校時代人権学習で学んで知っていたので、言葉だけの知識は持っていたと言える。

しかし、根本とか、基本を認識していない状況で人権主事を委嘱され、心底困惑した。とりあえず、本庁出版のブックレットや関係する本を読むよう努めたが、理解出来ぬ箇所も多く困った。人権「同和」問題は、被差別部落の人達の人権（基本的人権）が保障されていないことが、根本の問題になっているようにだと把握できた。一通り本を読んで、部落差別の学習をしたつもりであるが、人権主事研修会で現地研修に参加したり、宗門の問題などを学習したりする中で、この問題がほとんど広がっていく感で、二年経過した現在でも、この問題の核心をつかんでいないと反省している。

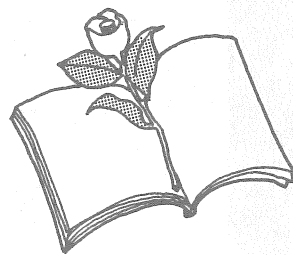
こんな状況でありながら、婦人会、現職研修

会、宗務所主催の学習会などで講演したり、企画や立案して来たが、冷汗の出る思いであった。これは先輩の人権主事の「ひな型」があり、それを真似てやれたことであり、私自身のものではなかった。

人権主事研修会で、今、宗門が直面している課題を是非やるように言われ、一年目は、この宗門の課題について管内全寺院のアンケートを実施し、これを教材に、位階、戒名問題について話し合いをおこなった。アンケートの解答率は、80%を越え、真面目な改革意見なども多く書かれていたが、話し合いは不十分であったと思っている。本庁からの考えや指示を待つという意見が多く出て、僧侶一人一人のこの問題に関する意見とか話し合いが少なかつた。私としては、アンケートに書かれていたような意見がどんどん出ると期待していたので、やや残念であった。

二年目は、宗門が初めて作成したビデオを見て、その後、話し合いを持ったが、その話し合いは、司会者のリードも良く比較的意見も多く出た。しかし、より充実した話し合いを目指す為に、これは先輩の助言もあって、小グループに分けての話し合いを計画している。

私が、人権主事を担当しているからそう思うのかも知れないが、人権「同和」問題に対する認識や取り組みは浅いように思う。宗門が誤りを犯し、それを指摘されて改革を迫られている現在、私を含めて、全国の僧侶、寺族が自分の問題として取り組んでいかねばならないと考えている。



### 新入所16ミリフィルム

題名	備考	内容
愛華ちゃんの地球の秘密 総集編	アニメ 33分 児童・青少年・一般	12才という若さで亡くなった坪田愛華ちゃんが亡くなる直前に書き上げた環境マンガ「地球の秘密」をアニメ化。環境保護を訴えるものとして内容も充実、小中学生はもちろんのこと、青少年・一般まで広く受け入れられる作品。
禅のいぶき	実写 30分 一般	曹洞宗の両大本山紹介映画。永平寺と總持寺は檀信徒の信仰の地であり、また同時に僧たちの厳しい修行の場でもある。四季折々の変化をおりませながら、壮大な伽藍と修行僧たちの日常の生活を美しい映像で描いていく。檀信徒必見の作品。

### 新入所ビデオテープ

題名	備考	内容
禅のいぶき	実写 30分 一般	上記参照
ブッダーその生涯と教えー	実写 34分 青少年・一般	誕生から涅槃まで、ブッダを一人の悩める人間という視点からとらえ、その生涯に迫る。仏の愛と教えを現代の日常にとらえ返した作品。
食ー典座教訓・赴粥飯法に学ぶー	実写 34分 一般	インド仏蹟の映像とイラストにより、視覚的にも楽しめる作品。
環境教育シリーズ 第二の自然環境・水田	実写 16分 青少年・一般	「食べる」という日常的な行為に注目し、何の為に、いかに食べるべきかということ、愛媛県瑞応寺専門僧堂における雲水の日常生活を通じてドキュメントで描く。
環境教育シリーズ 森は海の恋人	実写 16分 青少年・一般	稲作発祥以来、水田は人類に様々な恩恵をもたらして来た。その水田が今、色々な意味で危機に瀕していること、そこから派生する色々な弊害を描き、水田を守ることが豊かな環境と文化を未来に伝えるということを強く訴える。
環境教育シリーズ 山の中の大煙突	実写 17分 青少年・一般	気仙沼湾に面したカキ養殖漁民が大川の源、室根山に植林をしている。森林資源の伐採によって山の機能が喪失し、ひいては海の生物も育たなくなるほど海を汚染させてしまうという現実を示し、環境保全の大切さを強く訴える。
環境教育シリーズ 新しい公害ー産業型から都市・生活型へー	実写 16分 青少年・一般	公害問題は今も様々な問題を投げかけているが、明治の昔、日立鉾山の経営者久原房之助が公害に苦しむ地域住民と話し合いながら、公害を少しでもなくそうと住民と共に闘った感動的なエピソードを通して、環境問題と取り組む姿勢を考える。
環境教育シリーズ 江戸のリサイクルに学ぶ	実写 16分 青少年・一般	私たちは様々な公害を克服して来たが、最近問題になって来た新しいタイプの公害、ヒートアイランド現象と自動車交通公害に焦点を当て、都市・生活型公害とはどういうものか、どうしたら防げるか、その現状と問題解決の方向を探る。
環境教育シリーズ 私たちのラムサール条約	実写 16分 青少年・一般	今、日本は増え続けるゴミや下水処理に困惑している。現代人には想像が出来ないような江戸の昔の生活様式、当時の生活排水や尿尿の処理、ゴミや日用品のリサイクル方法を描き、現代のそれと対比しながら、これからの環境問題を考える。
		ラムサール条約とは水鳥の生息地を次の世代に残すための国際的環境保全条約である。そういうことには無縁だった人が、同じ趣旨のトラスト運動を実地に見聞し、生物が豊富な地域は人間にも住みよい環境なのだ自然保護に目覚めて行く。

センター所有の16ミリフィルム・ビデオテープはその他にも有ります。詳しくはセンターまで。

### 注意事項

- 使用報告書は映写後、必ず記入して下さい。
- フィルムは映写機の使用法を十分に心得た方が取扱うようお願いします。
- フィルムが切れたり、傷のついた場合は、その箇所を明示してご返送下さい。

### フィルム貸し出しについて

- 教化センターの活動に支障のない場合に限り貸出します。
- 使用料は無料とします。
- 貸出し期間はそのつど、検討し決定します。
- 損傷した場合はセンターの指示に従っていただきます。
- 申請書を早目にセンターまでご提出下さい。



# 曹洞宗中国管区教化センター

## 平成9年度事業計画

(平成9年4月1日～平成10年3月31日)

- 全国教化センター役員中央協議会 (四月九～十一日)
- センター企画委員会 (四月十八日)
- 中国管区教化センター報13号発刊 (四月)
- 曹洞宗婦人会中国管区研修会準備会
- 禅をさく会 (山口) (六月四日)
- 青少年教化指導者研修会
- 山口 (六月二十五～二十六日)
- 管区役員人権学習会 (七月八～九日)
- 第十三回親子ゼンインサマーセミナー
- 鳥取 (七月二十九～三十一日)
- 中国管区布教師協議会・講習会
- 岡山 (九月十九～二十日)
- 禅をさく会 (鳥根II) (十月二十日)
- 中国管区集会 (十月十七～十八日)
- 曹洞宗婦人会中国管区研修会 (十月)
- センター運営・企画委員会 (十一月四日)
- 全国教化センター役員中央協議会 (十一月十～十二日)
- 中国管区教化センター報14号編集会議 (平成十年一月)
- 中国管区布教委員長会議 (二月四日)
- 島根県布教講習会 (二月)
- 布教師特設検定 (四国)

セ ン タ ー 役 職 員				
統監	宮田玄洞	阿弥陀寺	〒725-02 豊田郡東野町2276	☎(08466)5-2061
主監	用元一雄	長光寺	〒722-24 豊田郡瀬戸田町垂水830	☎(08452)7-2467
賛事	村上邦雄	摩訶衍寺	〒722-02 尾道市原田町梶山田4338	☎(0848)38-0656
賛事	宇田治徳	雙照院内	〒723 三原市田野浦町1218	☎(0848)62-4550

### 雑記

いつでも、どこでも電話がかけられるということ、この2～3年、携帯電話、PHSが急速に普及しました。

しかし、時と場所を選ばず呼び出し音が響いています。静かな場所です話をしている人の声が、イヤでも耳に入ってきます。

車内とか館内では、「携帯電話、PHS、ポケベルのスイッチをお切り下さい」とアナウンスされています。

にもかかわらずこのありさま。

便利さは自分だけでいいのではありません、もっと他の人に迷惑をかけるだけの気持ちをもってもらいたいものです。

